

中津川市と東京大学との共同研究でアンケート調査を実施します

市では、東京大学 交通・都市・国土学研究室と進める共同研究の基礎データとするため、市民の日常生活における行動・交通の実態、コロナ禍の影響、新たな技術を用いた交通サービスの利用可能性を把握するアンケート調査を実施します。

■期 間 令和3年1月20日(水)～令和3年2月5日(金)

■対 象 16歳以上の市民1,600人(地域別に無作為抽出)

内訳 中津地区：400人

坂下・加子母・付知・福岡・蛭川地区：各200人 計1,000人

山口・川上地区：各100人 計200人

■方 法 1月20日(水)、対象者にアンケート調査票を郵送

■内 容 ①コロナ禍における生活行動・意識調査

主な調査内容

- ・外出時に利用する主な交通手段、自動車の保有状況
- ・交通手段がないことやコロナ禍で、行きたいが行けない場所・施設
- ・自動運転を使った移動サービスの利用意向

②交通実態調査

主な調査内容

- ・平日から調査日を1日決め、その日の移動時刻・移動目的・移動場所・交通手段・消費額等を調査

■参 考

・共同研究

超高速交通網と接続する分散型拠点の設計と地域の持続的在り方に関する研究

令和2年度から4年度まで実施

令和2年度は基礎データを把握する調査を実施。令和2年11月17日から12月16日にかけて付知地区でプローブパーソン調査を実施。

・東京大学 交通・都市・国土学研究室

都市生活学とネットワーク行動学に関する理論研究を中心に都市サービスの実装と国土・地域計画や都市空間計画と都市設計、モビリティデザインの実践に取り組んでいる。

・市の体制

次世代交通研究プロジェクトチームリーダー大脇直樹 以下9人

(政策推進部、リニア都市政策部、定住推進部、商工観光部、文化スポーツ部、建設部の職員で構成)

お問い合わせ先

次世代交通研究プロジェクトチーム(政策推進部政策推進課内)

担当者：大脇直樹

電話：0573-66-1111(内線330)